

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター 通園あるば		
○保護者評価実施期間	令和7年1月6日		～ 令和7年1月17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42人	(回答者数) 36人
○従業者評価実施期間	令和7年1月6日		～ 令和7年1月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	20人	(回答者数) 20人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月6日		

○分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○指導訓練室、遊戯室、園庭等は、基準より広く子どもたちがゆったりとしたスペースで保育・療育が受けられるよう整備しています。	○保育終了後の毎日清掃や全職員による月1回の園庭清掃、年数回の大掃除に取り組んでいます。 ○机、椅子などは紀州材を用いて木の温もりが感じられる空間にしています。	○さらに子ども達に分かりやすい環境づくりに取り組むとともに、設備等は障害の特性に応じバリアフリー化やより環境上の配慮に取り組みたいと考えています。
2	○職員は、管理者1名、児童発達支援管理責任者1名、発達相談員1名、作業療法士1名、准看護師1名、児童指導員5名、保育士8名、栄養士1名、調理員2名、事務員2名、合計23名の職員を配置し充実を図っています。(令和7年2月3日現在)	○今年度、新たに児童発達支援管理責任者資格1名、相談支援専門員資格2名、調理師免許1名が資格等を取得しました。(複数の資格取得者があります。) ○現在(令和7年2月3日)の資格取得者は、児童発達支援管理責任者3名、相談支援専門員5名、公認心理師2名、臨床発達心理士1名、社会福祉士2名、作業療法士1名、准看護師1名、児童指導員5名、保育士10名、調理師3名、防火管理者4名、安全運転管理者1名を配置しています。(複数の資格取得者があります。)	○さらに職員の資質の向上を図るために、資格取得研修や職場外・職場内研修の充実を図りたいと考えています。
3	○家族等からの子育ての悩み等に適切に応じるとともに、家族等の支援に取り組んでいます。	○家族等からの子育ての悩み等に適切に応じるため、個別懇談会は年2回、グループ懇談会は年2回、見学会は年2回、発達相談は年2回実施し必要な助言と支援を行っています。 ○家族等を支援するため、ペアレント・トレーニングは年1回1クール(6回)、親子保育は原則毎月1回、保護者学習会は毎日通所及び併行通所の保護者の皆さんに年6回程度実施しています。	○さらに家族等を支援するために施策の充実に取り組みたいと考えています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会が設けられていません。	○併行通所は、地域の保育所等へ通っているので機会がありますが、毎日通所の子どもたちは交流を支援してくれるところが少なく交流が難しいと考えています。	○毎日通所の児童については交流が実施できていないので、保育所、認定こども園、幼稚園との交流や地域の中で他のこどもと活動することができる体制を整えて行きたいと考えています。
2	○地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っていません。	○地域の他のセンターや事業所との連携を深めることが今後の課題です。	○来年度中の実施に向け検討しています。
3	○業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画できていない。 ○第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げられていません。	○多くの職員の参加は、日々の保育が中心となるため意見交換の時間が取りにくい時があります。 ○第三者による外部評価委員会は、今年度1回開催しましたが、まだ十分に業務改善するまでには至っていません。	○今後の計画づくりについて共有することが少ないと感じており、広く職員が参加する機会を作りたいと考えています。 ○第三者による外部評価委員会は、改めて今年度の評価結果をもとにこの3月に開催し、業務改善に繋げて行きたいと考えています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センター 通園あるば				公表日	令和 7 年 2 月 10 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	20	0	○指導訓練室、遊戯室、園庭等は、基準より広く子どもたちがゆったりとしたスペースで保育・療育が受けられるよう整備しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	18	2		○子どもの特性により、1対1でつかなければならない児童もあり配置が厳しい時があります。 ○休憩時や午睡時に人手がほしいと感じることがあります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	20	0			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	20	0	○まだまだ行き届かないところもありますが、保育終了後の毎日清掃や全職員による月1回の園庭清掃、年数回の大掃除に取り組んでいます。 ○机、椅子などは紀州材を用いて木の温もりが感じられる空間となっています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	17	3		○個別の部屋はないが、場所はあるように思います。 ○落ち着くための別室が用意しにくい時があります。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	15	5	○週1回、ほぼ全職員による職員会議を実施しています。	○共有することが少なすぎると思うので、参加する機会を作りたいと思います。 ○今後の計画づくりについて考えなければならぬと感じています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	19	1		○まだまだ業務改善が不十分だと思つので、これからも重ねていきたいと思つます。 ○保護者の意見をさらに職員で確認していくことも必要と感じています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	17	3		○まとめていくのが難しいが、努力はしていると思つます。 ○日々の保育が中心となるため意見交換の時間が取りにくい時があります。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	15	3		○これから始まるので、改善につなげていきたい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	19	1	○年間の研修計画を作成しており、月1回程度、全職員を対象に外部講師などにより研修を実施しています。 ○今必要な研修なのかがつかめていないが、機会は確保しています。		
適切な+	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	20	0	○令和6年12月に、保護者に公表するとともに、ホームページで公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	19	1		○保護者の思いを受けたいと思つが、もっと話す機会を作りたいと思つます。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	19	0	○グループ及び担当職員で検討を行い、共通理解の下で作成しています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	19	1			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	19	0			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	18	0			

又 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	20	0	○活動プログラムは、グループ会議で検討し作成しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	19	1		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	18	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	20	0	○毎日、朝礼等で実施しています。 ○朝礼では、情報交換、申し送りで共有し支援を行なっています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	20	0	○毎日、終礼等で実施しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	19	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	19	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	19	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	20	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	18	1	○保育所等訪問支援事業を行うことで、併行通所を利用している子どもに、児童発達支援センターとしての支援内容等の情報共有を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	18	1		○入学後に申し送りをする予定です。 ○今年度初の卒園児を迎え、就学への申し送りを予定しています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	14	5		○令和7年度の実施に向け検討しています。 ○地域の他のセンターや事業所との連携を深めることが今後の課題です。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	20	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	18	1	○管理者等が毎回参加しています。	○職員として参加する機会があれば参加したい。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	16		○毎日通所の児童については実施できていないので、現在、実施に向け検討しています。 ○保育所、認定こども園、幼稚園との交流や地域の中で他のこどもと活動することができる体制を整えていきたい。 ○併行通所は、地域へ通っているので機会があるが、毎日通所の子どもたちは交流がないので機会があればと思います。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	20	0	○HUGシステムにより、毎日の子どもの状況を情報交換し共通理解を図っています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修(親子保育、保護者学習会等)の機会や情報提供等を行っているか。	20	0	○ペアレント・トレーニングは、年1回1クール(6回)実施しています。 ○親子保育は、原則、毎月1回実施しています。 ○保護者学習会は、毎日通所及び併行通所の保護者の皆さんに、年6回程度実施しています。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	20	0			

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	20	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	19	0	○児童発達支援計画は、年2回、保護者に説明し同意を得ています。	
	38	定期的（個人懇談、発達相談等）に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	20	0	○個別懇談会は年2回、グループ懇談会は年2回、見学会は年2回、発達相談は年2回実施し必要な助言と支援を行っています。	
	39	保護者会等を開催（親子保育、保護者学習会、グループ懇談会等）する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	19	1		○保護者学習会等は開催し、併行通所は保護者同士の交流はあまりできていないので、もう少し機会を設けても良いかなと思います。（特に併行通所は少ない。）また、きょうだい同士の交流は運動会のみで機会が少ないと思います。○きょうだい同士の交流は難しい。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	18	2		○まだ対応が不十分に感じることもあります。
	41	定期的に会報（あるばだより、給食だより等）を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	20	0		○発信はしているが、活動の写真などについては物足りなさを感じています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	19	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	20	0		
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	19	1		○地域交流はなかなか進まないが、協力してもらっていることは多いと思います。○地域の方にはクリスマス会に参加してもらっていますが、今後もっと交流する機会を増やしていけたらと思います。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	19	1		○さらに厳しい状況を想定した訓練が必要と感じます。○実際に起きたときを想定して、やらなければならぬ訓練がまだまだあると感じます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	19	1		○まだまだ避難訓練の改善が必要です。○避難訓練は行っているが、実際にバギーを使った訓練の実施など課題は多くあります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	20	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	18	1		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	20	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	16	2		○通園バスの送迎で、大規模災害時などの詳細なマニュアルを家庭と共有する必要があると感じます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	19	1	○毎日の終礼や毎月のヒヤリハット一覧表により事例を共有しています。	○終礼時の報告では、何かがヒヤリハットの事例となっていることがあります。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	20	0	○年に数回、外部講師を招き研修を実施するとともに、園内では年3回、人権擁護のためのチェックリストを用いて適切な対応ができるように研修しています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	19	0			

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日： 2025年02月10日

事業所名：児童発達支援 社会福祉法人 公風会 通園あるば

対象人数（保護者）42人 回答者数 36人 回収 85.7%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	34	1		1	室内遊びの様子の報告を受けるがどのように過ごしているか実際見ていないので見学してみたいです。 教室、お遊戯室、園庭とどれも広く、子どもは走り回れたりのびのびと過ごせている。	見学会については、充実を図っていきたく考えています。
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	27	4	1	4	歩行困難な子がいる場合に職員1人が必ず必要になる時があるため	職員配置については、さらに充実を図っていきたく考えています。
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	32	2		2	トイレの場所が保育室から近いため1人でトイレに向かう習慣が付きやすかったと思います。 施設から出ないよう工夫されていると思う。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	34	2			園庭に遊具が無いので、園庭での活動が限られていないか気になる。 整理整頓されているし、いつも清潔なイメージがあります 木の温もりを感じられる。 給食室やトイレが真ん中に設置されていて使いやすいと思う。	園庭遊具の設置について検討しましたが、現在の安全基準では、園庭の半分程度が占有されるため、遊具は設置せず園庭では広くのびのびと遊べる環境にしています。なお遊具を使った活動は、園外保育での公園遊び等で活用しています。
適切な 支援の 提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26	8		2	専門性のある支援ができる先生自体配置されているのかいないのか、また特性で困った時に相談できる人がいなかった 人により差があると感じる 特性に応じた対応をしているのか、経験値が不明で専門性は分からない	職員の持っているの専門性をさらに保護者の方に説明するとともに、より気軽に相談できる体制にしていきたいと考えています。
	⑥	事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	32	1		3		
	⑦	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	33		1	2	保護者に対し計画の内容は十分に説明されているが、計画の内容に個別性や具体性が無い。進捗状況がわかりづらく進歩していないように感じる	個別支援計画の説明時には、さらに理解を深めていただけるよう取り組んでいきたいと思っています。
	⑧	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容	30	3		3		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
	からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。							
	⑨ 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	31	2		3	計画に沿った支援が実行されているのかどうか発達相談や個別相談の時以外知る機会がない。	個別支援計画の説明時には、さらに理解を深めていただけるよう取り組んでいきたいと思っています。	
	⑩ 事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27	2		7	園外保育やお散歩、いろんなことに挑戦させてもらうことができて 公園や図書館にも行っている、園庭での宝探し等、工夫されていると思う		
	⑪ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	11	3	16	6	併行通所に関しては、必要ないと思うので、現状のままで良いと思う 今後毎日通所でもそういった交流ができるといいなと思います。 併行のためあります。	毎日通所については交流が出来ていないので、保育所、認定こども園、幼稚園との交流や地域の中で他の子どもと活動することができる体制を整えていきたいと考えています。	
保護者への説明等	⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	33	1	1	1			
	⑬ 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	35		1				
	⑭ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会(親子保育、保護者学習会等)や情報提供の機会等が行われていますか。	33	2			1		
	⑮ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	29	5		1	1	お昼寝がなくなった後、ハグの記入が簡素化されたので以前より分かりづらくなったと感じる。毎日難しくても週や月1回でも発達や成長、日頃の様子などハグで記入頂けると嬉しい。 園での様子がわかりにくい(できるようになったこと、まだできないこと、普段苦手なことなど子どものことをもっと知りたいです) 個人差がある ハグに書くがその事について反応がなくフィードバックされていないように感じる	毎日のサービス提供記録や保護者との連絡において、さらに共通理解を深めていきたいと考えています。
	⑯ 定期的に、面談や子育てに関する助言(個人懇談、発達相談等)の支援が行われていますか。	35				1		
	⑰ 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	32	3			1	担任の先生は保護者の思いを汲み取るうとしてくれていて、子ども	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
						にもいつも明るく楽しく接してくれている	
	⑬ 保護者会等の開催（親子保育、保護者学習会、グループ懇談会等）等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	24	5	3	4	保護者会等は、十分に開催してもらっている。 きょうだい向けのイベントは、特に必要性を感じないため、現状のままで良いと思う。 きょうだい同士の交流や支援がもう少しあるといいなと思う	きょうだい同士の交流は、運動会のみで機会が少ないので、今後交流を増やしていきたいと考えています。
	⑭ こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	28	4		4	子どもの特性で困った時「来年ベアトレーニングを受けてみてはどうですか？」と助言をもらったが、その助言であれば誰でもできるし、成長発達知識がある先生がいないのかなと思いました	
	⑮ こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28	5	1	2	提出物や防災靴などの詳細連絡が遅いと感じる。 併行通所はあるばに行けない日も多いため、情報伝達を密にしたい。	毎日のサービス提供記録や保護者との連絡において、さらに情報伝達を密にしたいと考えています。
	⑯ 定期的に会報（あるばだより、給食だより等）やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	35	1			あるばだよりをいつも楽しみにしています。 給食だよりを見て参考にさせていただいてます。	
	⑰ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	33	2		1		
非常時等の対応	⑱ 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	28	2	1	5	併行通所のため、きちんと訓練をされているか分からない。	あるばだよりなどで、さらに災害訓練の状況などを発信していきたいと考えています。
	⑲ 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	33			3	併行通所のため、きちんと訓練をされているか分からない。	
	⑳ 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	32	1		3		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	⑤ 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	30	3	1	2	怪我をした時、病院を受診する際など、細やかに連絡してもらった 怪我をした時「誰も見れてなかった」「目を離してた一瞬の隙に」「怪我の前にキックボードに乗ってたので、たぶんキックボードで転けて」など、怪我の状況が曖昧であった。 怪我をするリスクがある状況ならば誰が誰を見ておくと互いに共有しあったり、子ども同士の距離をあけるなど、目を離しても大丈夫な状況、安全の確保ができるよう配慮が必要であると思う（一時行くと怪我をして心配でした）	さらに安全安心な保育・療育に努めるとともに、事故が発生した場合には明快に説明できるように取り組んでいきたいと思います。
満足度	⑥ ① 子どもは安心感をもって通所していますか。	33	1		2		
	⑥ ② 子どもは通所を楽しみにしていますか。	32	2		2	子どもはあるばの先生みんなのことが大好きで、自分らしく楽しく過ごすことができているように思う。一度も園に行くことを嫌がったことがないです！先生に会うと嬉しそうに登園していく	
	⑥ ③ 事業所の支援に満足していますか。	29	5		2	満足している点→ ・先生方が優しく子どもに関わってくださるので、子どもが嫌がらず楽しく通えていることと、偏食気味の子どもが先生方の工夫により食べれる物が増えたことです。 ・トイレや着替えなど、自立を促してくださる点です。 改善してほしい点→ ・見学会をしていただいているのはありがたいのですが、もう少し時間を長くしてほしいです。 ・親子保育の後、昼食を提供していただきたいです。持ち込み可でも良いので、食べて帰りたいです。 ・写真をもっと見たいです。 職員のみなさんどの方も人柄が素敵で、一生懸命子どもにも向き合ってくれているし、子どもたちを楽しませよう、安心させようとしてくれているのが伝わります。 専門性や個性のところで知識を深めた人がいてくれたらもっと安心できるように思いました 基本的に満足しています。 ただ、園生活での子ども	定期的な行事のケースは、できるだけ写真や動画の撮影をしていたらいいように、また園で撮影した写真についてももう少しHUGなどを通じて発信していきたいと思います。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
						<p>もの写真がほとんどありません。 入学式やイベント等では、他の園では後で写真を購入することが出来ます。 他のきょうだいと比べるとさみしく感じます。</p>	